

所管事項調査②

学校給食センターのリハーサル結果について

目次

	ページ
1 学校給食センターのリハーサルの概要等	2 ～ 5
2 今後の給食残渣の対応	6
3 【参考】学校給食センターの概要	7

教 育 委 員 会
令 和 8 年 9 月

1 学校給食センターのリハーサルの概要等

(1) リハーサルの目的

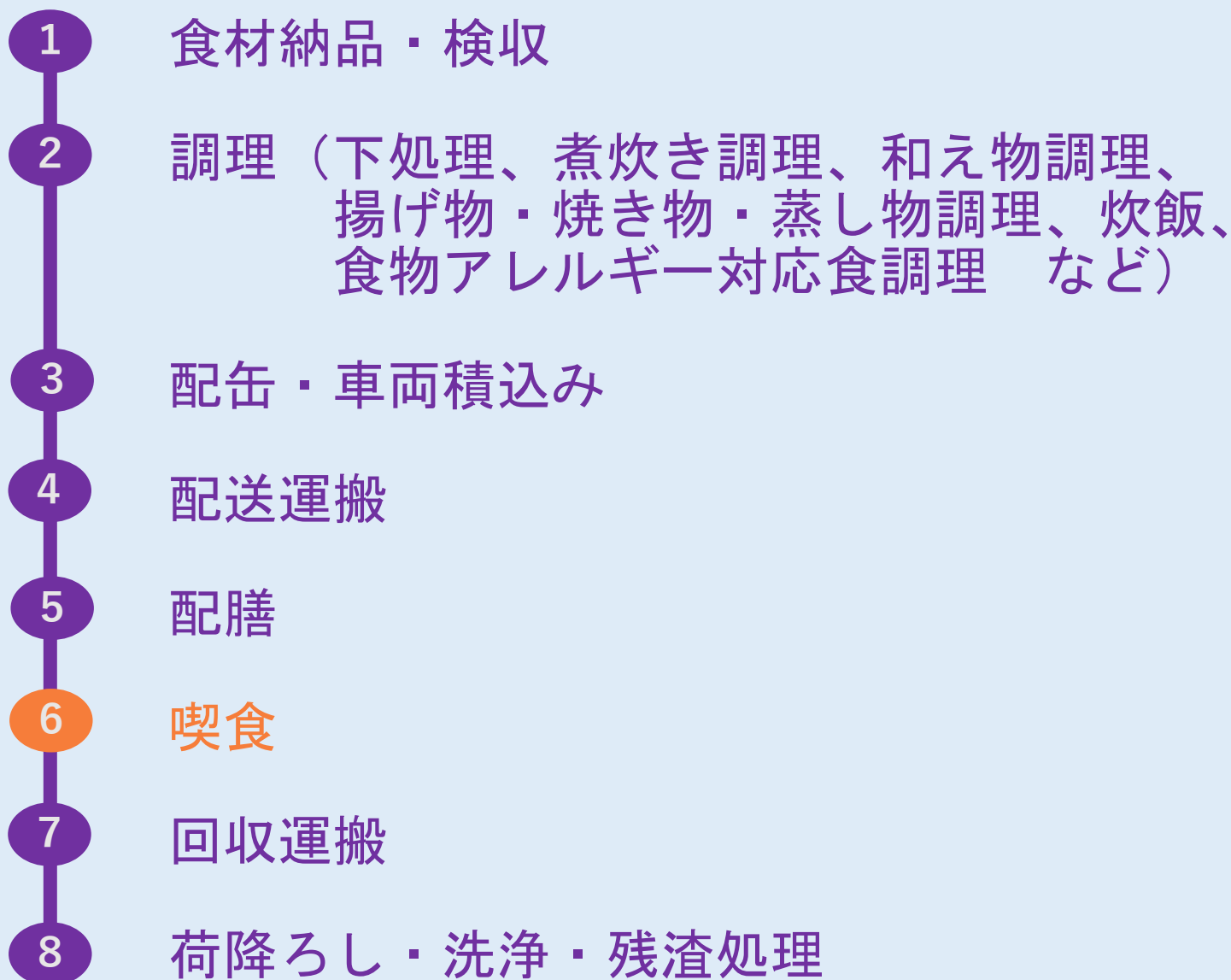
中部及び南部学校給食センターのリハーサルは、食材検収、調理、配缶、配送、配膳などの作業工程や動線の確認を一連の流れで実施し、安全・安心な給食提供に向けた課題を洗い出すこと、また、学校に配膳の際の児童生徒の動線などを確認してもらうことを目的として実施した。

北部学校給食センターのリハーサルは、新たに取り込む9校について食器や水等を入れた食缶を配送し、学校に配膳の際の児童生徒の動線などを確認してもらうことを目的として実施した。

(2) 日程等

センター	実施日	調理数	調理物
中部	【①回目】 8月18日（火）	3,000食	衛生上、喫食できないため全て「たい肥化」
	【②回目】 8月21日（金）	6,000食	
	【③回目】 8月26日（水）	12,000食	全受配校で喫食
南部	【①回目】 8月19日（水）	1,000食	衛生上、喫食できないため全て「たい肥化」
	【②回目】 8月25日（火）	4,000食	全受配校で喫食
北部	【①回目】 8月24日（月）	—	調理は行わず、配送・配膳のリハーサルを実施（新規取込校9校）

(3) 学校給食センターの給食提供フロー



(4) リハーサル結果

センター	実施日	主な課題など	対応策
中部	① 8月18日	主に調理や調理物の配缶、コンテナへの食缶積み込みに時間を要し、36校中29校で学校到着に10分以上の遅れが発生した。 ・ 10分以上～15分未満の遅れ：10校 ・ 15分以上～30分未満の遅れ：13校 ・ 30分以上の遅れ：6校（最大：1時間6分）	特に遅れ気味であった、調理物の配缶やコンテナへの食缶積み込みの反復トレーニングを実施した。
		精肉の食材検収時に検温漏れがあった。	再度、衛生面の教育・指導を行った。
		学校において配送員が適切に靴の履き替えを行っていなかった。	
		複数校に配送する車両のコンテナの積み込み順が誤っており、学校で入れ替えが生じた。	配送口に積み込み順を掲示したうえで、複数人で確認を行う。
	② 8月21日	センター室内の床を濡らして良いエリア、濡らしてはいけないエリアの区別が徹底されていなかった。	床を濡らさないドライ運用の意識を周知し、衛生面の教育を行った。
		主に調理物の配缶、コンテナへの食缶積み込みに時間を要し、36校中16校で学校到着に10分以上の遅れが発生した。 ・ 10分以上～15分未満の遅れ：8校 ・ 15分以上～30分未満の遅れ：8校（最大：26分）	特に遅れ気味であった、調理物の配缶やコンテナへの食缶積み込みの反復トレーニングを実施した。
		野菜洗浄の際に水を溢れさせながら洗浄していないケースやきゅうりを1本ずつ洗浄せず数本ずつまとめて洗浄していた。	衛生面での教育・指導を徹底していく。
	③ 8月26日	冷凍のハンバーグや厚揚げを冷凍庫から出すタイミングが早く、30分程度常温で置かれていた。	
		主に調理や調理物の配缶に時間を要し、36校中4校で学校到着に10分以上の遅れが発生した。 ・ 10分以上～15分未満の遅れ：4校（最大：14分）	調理工程の確認の徹底や調理物の配缶の反復トレーニングを行うとともに、食缶の並べ方など事前準備を見直した。
		床に落としたものを拾った後や味見のためマスクを外した後などの手洗いが不十分だった。	様々な場面を想定し、衛生面での教育・指導を徹底していく。

センター	実施日	主な課題など	対応策
南部	① 8 月19日	主に調理や調理物の配缶、コンテナへの食缶積み込みに時間を要し、全23校で学校到着に10分以上の遅れが発生した。 ・ 10分以上～15分未満の遅れ：2校 ・ 15分以上～30分未満の遅れ：4校 ・ 30分以上の遅れ：17校（最大：1時間10分）	特に遅れ気味であった、調理物の配缶やコンテナへの食缶積み込みの反復トレーニングを実施した。
		食材検収の際、食材を入れる容器を直接床に置いていた場面があった。	衛生面の教育・指導を徹底していく。
		配送口風除室で一部の配送員が靴下で作業を行っていた。	
		食器具等の洗浄時に一部の従業員が靴を履き替えずに汚染区域と非汚染区域を行き来していた。	
		野菜洗浄の際の床濡れが目立った。また、台車などの洗浄を床を濡らしてはいけない調理室内で行っていた。	床を濡らさないドライ運用の意識を従業員へ周知し、衛生面の教育を行った。
	食材の包装などの二度切りが見受けられた。	異物混入のリスクなど衛生面の教育を徹底していく。	
	② 8 月25日	主に調理や調理物の配缶、コンテナへの食缶積み込みに時間を要し、23校中7校で学校到着に10分以上の遅れが発生した。 ・ 10分以上～15分未満の遅れ：1校 ・ 15分以上～30分未満の遅れ：6校（最大：20分）	調理工程の確認の徹底や調理物の配缶の反復トレーニングを行うとともに、食缶の並べ方など事前準備を見直した。
		炊飯の自動計量器が適切な量でストップしていなかった。	機器の調整を行うとともに誤差に対応する配缶訓練を行った。
		学校において調理物の検温や食器の数え作業などを行っていない配膳員がいた。	配膳員に対し再教育を行った。
	北部	① 8 月24日	クラスごとの食器の数に過不足があった。
学校における配送車の停車位置が分かりにくい。			配送業者が必要に応じマーキングを行う。
学校におけるコンテナ運搬の動線上に障害物があるなど、スムーズな運搬に支障があった。			学校と相談して改善措置を行う。

2 今後の給食残渣の対応

学校給食センターでは、残渣を圧縮・脱水する機器を導入しており、これまで各学校で発生していた残渣量を1/3程度に圧縮し減量化を図っている。また併せて、学校ごとに残渣量を計量し、子どもたちへの食育指導に活かすことにより残渣量の縮減に努めている。

それでもなお発生した残渣について、毎日「たい肥化」した場合は、事業期間全体で約420,000千円の高額な費用が必要になる見込みであり、実施は困難であると考えている。ただし、台風接近などによる臨時休校等の場合は、食材の発注変更により廃棄量の縮減に努めるとともに、廃棄せざるを得ない食材は「たい肥化」について運営事業者と協議、検討を行う。

【参考】給食残渣を毎日「たい肥化」した場合の概算費用

センター	費 用		事業期間
	毎月	事業期間全体	
北部	1,188千円	141,274千円	令和18年7月まで (約9年11か月)
中部	1,343千円	240,395千円	令和23年7月まで (約14年11か月)
南部	228千円	40,812千円	
合計	2,759千円	422,481千円	

3 【参考】学校給食センターの概要

	中部学校給食センター	南部学校給食センター	北部学校給食センター
所在地	川平町103番地1	香焼町563番地15	豊洋台2丁目24番54号
調理能力	12,000食/日・3献立 (うち食物アレルギー対応食 240食)	4,000食/日・1献立 (うち食物アレルギー対応食80 食)	8,000食/日・2献立 (うち食物アレルギー対応食 150食)
配送校※	小学校26校、中学校10校	小学校12校、中学校11校	小学校19校、中学校9校
	戸石小、古賀小、矢上小、 日見小、諏訪小、桜町小、 西坂小、小島小、愛宕小、 仁田佐古小、大浦小、飽浦 小、朝日小、稲佐小、城山 小、西北小、西浦上小、高 尾小、山里小、坂本小、銭 座小、三原小、女の都小、 西山台小、橘小、高城台小、 東長崎中、日見中、桜馬場 中、長崎中、丸尾中、淵中、 西浦上中、山里中、橘中、 三川中	茂木小、小ヶ倉小、土井首 小、深堀小、南陽小、南長 崎小、香焼小、伊王島小、 蚊焼小、為石小、晴海台小、 川原小、小島中、茂木中、 大浦中、梅香崎中、戸町中、 土井首中、深堀中、小ヶ倉 中、香焼中、伊王島中、三 和中	式見小、福田小、西城山小、 西町小、滑石小、大園小、北 陽小、三重小、畝刈小、横尾 小、小江原小、虹が丘小、鳴 見台小、桜が丘小、外海黒崎 小、神浦小、形上小、長浦小、 村松小、福田中、緑が丘中、 岩屋中、滑石中、三重大、横 尾中、小江原中、外海中、琴 海中
給食提供 開始日	令和8年9月2日		令和4年1月12日

※ 令和8年9月時点の配送校